

中国四国教育学会第 74 回大会報告

中国四国教育学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院人間社会科学研究科教育学講座内

cssse@hiroshima-u.ac.jp

2022年12月3日（土）、4日（日）の両日、香川大学を大会会場に中国四国教育学会第74回大会を対面形式にて開催することができました。ご参加いただいた多くの会員の皆様に御礼を申し上げるとともに、会場校をお引き受けいただいた大会実行委員会委員長の櫻井佳樹先生をはじめ、実行委員の先生方、そして実務的に大会を支えていただいた院生や学生の皆様に深く感謝申し上げます。また、香川大学教育学部長の野崎武司先生には、スタジオ形式でのシンポジウムにご参加いただくとともに総会でも学会を励ましていただくご挨拶をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

この3年間の大会は、「新型コロナ」への対応に迫られましたが、何より学会員の研究発表の機会を保障することを優先して参りました。一昨年度の広島大学での大会では掲示板での発表であった自由研究発表の場が、昨年度の山口大学での大会ではZoomを使っての同時双方向でのやりとりの場になりました。そして、本年度、香川大学での大会は、会場校のご尽力のおかげで、自由研究発表を対面形式で実施することができました。空間を共有することで、どの会場においても、臨場感あふれる発表と、その後の質疑だけでなく全体を通しての総括討議も活発に行われ、また、発表後の会場や廊下で会員相互が情報交換や自由に論議している姿を見かけることができました。

今大会は、二日間にわたり22部会で138件（7件辞退を含む）の自由研究発表が行われました。オンラインへの登録者数は256名でした。ラウンドテーブルは7件（1件辞退）行われました。大会1日目の午後に開催されたシンポジウムには会場に89名のご参加をいただきました。基調講演者としてドイツのフライブルク教育大学よりトーマス・フル先生をお招きし、提案者として小林亮先生（玉川大学）には香川大学まで足を運んでいただき、大会校からは神野幸隆先生（香川大学）にご登壇いただき、貴重な提案をいただきました。さらに指定討論者である毛利猛先生（香川大学）のご発議をいただき活発な論議で学会の研究活動を刺激していただきました。あらためて感謝申し上げます。

今回は、大会前日に行われる理事会や大会第1日目の総会についても、対面形式で行うことができました。総会において、次年度2023年の第75回大会は広島大学を会場として、開催されることになりました。会場校を代表して岡村美由紀先生よりご挨拶をいただき、11月25日・26日を候補に開催されることが報告されました。

次の大会も本年度と同様に対面形式で実施できることを祈念するとともに、可能ならばこの3年間行うことができなかった会員懇親会の席上で皆様とお会いできることを願っております。

【会長・深澤広明】

○自由研究発表・シンポジウム・ラウンドテーブル

大会 2 日間を通して、計 22 部会で 138 件（取消 7 件を含む）の自由研究発表が行われ、各部会において活発な議論が交わされました。

大会 1 日目の午後に設けられたシンポジウムは、89 名の参加者がありました。司会の櫻井佳樹氏（香川大学）により趣旨説明がなされた後、トーマス・フール氏（フライブルク教育大学）より「社会と個人のトランスフォーメーション：子ども・若者・成人期における変容的学習の理論」と題する基調講演をいただいたのち、パネルディスカッションを行いました。休憩ののち、小林亮氏（玉川大学）より「「正義の対立」とそれを乗り越えるメタ認知の地平探究—ユネスコの地球市民性育成課題（GCED）の文脈で」、神野幸隆氏（香川大学）より「持続可能な社会を創る政治的主体者の育成を目指す社会科授業」という題で提案いただきました。続け毛利猛氏（香川大学）より指定討論を受けて、司会者・提案者を交えて議論を行いました。

大会 2 日目の午後には、7 件（取消 1 件を含む）のラウンドテーブルが開催されました。

○理事会・総会報告

理事会は、大会前日の 12 月 2 日（金）18 時から香川大学教育学部第三会議室にて開催され、役員 7 名と次期大会校実行委員 1 名、編集委員会幹事 1 名、事務局幹事 3 名が出席し、総会に提出する事項についての審議等が行われました。

総会は、大会 1 日目に開催されました。教育学部長野崎亮先生よりご挨拶をいただいた後、議長団（福田修氏<山口大学>、山岸知幸氏<香川大学>）による進行のもとで、事務局から各種報告が行われました。続いて 2021 年度決算報告・会計監査報告、2022 年度予算案・中間決算報告、次年度大会校についての審議がなされ、全て原案通りに承認されました。総会の進行は以下のとおりです。

中国四国教育学会・総会

1.	大会校 学部長挨拶	(香川大学教育学部長	野崎 武司)
2.	会長挨拶	(会 長	深澤 広明)
3.	大会校挨拶	(実行委員長	櫻井 佳樹)
4.	議長団選出	(事務局長	山田 浩之)
5.	報告事項		
	(1) 事業・会議報告	(事務局長	山田 浩之)
	(2) 研究推進事業報告	(事務局長	山田 浩之)
	(3) 編集委員会報告	(編集委員長	中坪 史典)
	(4) 会長選挙結果報告	(選挙管理委員会	曾余田浩史)
	(5) 会員情報管理システム導入について	(事務局長	山田 浩之)
6.	審議事項		
	(1) 2021 年度決算報告・会計監査報告	(事務局長	山田 浩之)
		(監 査	班 婷)
		(監 査	牧 貴愛)
	(2) 2022 年度予算・中間決算報告	(事務局幹事	山田 浩之)
	(3) 次年度大会開催校および副会長・役員の交代	(会 長	深澤 広明)
	(4) その他		
7.	議長団解任	(事務局長	山田 浩之)
8.	閉会の辞	(事務局長	山田 浩之)

○次年度大会のお知らせ

次年度の第 75 回大会は、令和 5 年 11 月 25 日・26 日に広島大学を会場として開催される予定です。詳細は年度明けにご案内します。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

2021 年度決算報告

2021年4月1日～2022年3月31日

《前年度繰越金》

8,329,158

《収入》

項目	予算	決算	決算-予算
学会費	3,540,000	3,485,000	▲ 55,000
内訳： 2021年度（5,000円）	552名： 2,760,000	548名： 2,740,000	▲ 20,000
2022年度以降（5,000円）	82名： 410,000	82名： 410,000	0
過年度（5,000円）	74名： 370,000	63名： 315,000	▲ 55,000
除籍分		2名： 20,000	20,000
『教育学研究紀要』（CD-ROM版）掲載費	575,000	495,000	▲ 80,000
内訳：個人研究（5,000円）	98件： 490,000	80件： 400,000	
共同研究（5,000円）	17件： 85,000	19件： 95,000	
その他収入	6,850	537,136	530,286
内訳： 預金利子	50	48	▲ 2
CD-ROM・ジャーナル売上	6,800	14,620	7,820
大会参加費		389,000	389,000
大会補助金*1		118,468	118,468
上記以外		15,000	15,000
収入合計	4,121,850	4,517,136	395,286
収入（繰越金含む）	12,451,008	12,846,294	395,286

*1 日本大学教育協会の補助金30,000円、日本教育学会地区活動援助金の残金88,468円

《支出》

項目	予算	決算	予算-決算
第73回大会経費	420,000	395,575	24,425
内訳： 会場校補助金	260,000	260,000	0
会場使用料	0	0	0
プログラム印刷費	160,000	135,575	24,425
シンポジウム要旨集印刷費	0	0	0
会議費	0	0	0
『教育学研究ジャーナル』刊行費	960,000	769,017	190,983
内訳： 印刷・J-STAGE掲載経費	710,000	556,017	153,983
会議費	20,000	0	20,000
編集作業人件費	30,000	15,000	15,000
委託費（査読サポート運用）	200,000	198,000	▲ 2,000
『教育学研究紀要』（CD-ROM版）刊行費	432,820	472,760	▲ 39,940
内訳： CD-ROM制作費	362,000	365,200	▲ 3,200
冊子体制作費	5,820	10,560	▲ 4,740
編集・校正作業人件費	65,000	97,000	▲ 32,000
研究推進費	200,000	200,000	0
内訳：「課題研究」助成金（100,000円/件）	2件： 200,000	2件： 200,000	0
ラウンドテーブル・会議費			0
事務局会議費（理事会、事務局会議等）	0	0	0
事務局旅費	3,620	2,520	1,100
封筒印刷費	50,000	64,460	▲ 14,460
通信発送費	300,000	340,238	▲ 40,238
会長選挙実施関連経費			0
振込手数料負担金	90,000	98,108	▲ 8,108
事務局人件費（含源泉徴収税、労災保険料）	812,550	1,052,406	▲ 239,856
消耗品費	55,000	45,308	9,692
予備費（銀行振込手数料等）	50,000	1,136,513	▲ 1,086,513
内訳： 銀行振込手数料等		16,442	
大会業務委託費		823,284	
日本教育学会地区活動報告書作成費		129,427	
大会運営費*2		167,360	
支出合計	3,373,990	4,576,905	▲ 1,202,915

*2 当日アルバイト謝金分150,000円、当日お弁当代15,600円、大会に関する振込手数料等1,760円

【次年度繰越金】

収入 - 支出 = 12,846,294 - 4,576,905 = 8,269,389 （次年度繰越金）
 純収入 - 純支出 = 4,517,136 - 4,576,905 = ▲ 59,769 （純利益）

寄 贈 図 書

(2021.12.01～2022.11.30)

○図書

- ・原田大介会員（関西学院大学）より寄贈
原田大介『インクルーシブな国語科教育入門』明治図書出版、2022年3月
- ・永田麻詠会員（四天王寺大学）より寄贈
永田麻詠『性の多様性と国語科教育—言葉による見方・考え方を働かせる授業づくり—』
明治図書出版、2022年10月

○紀要・ニュースレターなど

- ・『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第11号、京都教育大学大学院連合教職
実践研究科、2022年3月
- ・『東北教育学会研究紀要』第25号、東北教育学会、2022年3月6日
- ・『教育学雑誌』第58号、日本大学教育学会、2022年3月25日
- ・『中部教育学会紀要』第22号、中部教育学会、2022年6月30日
- ・『関西教育学会研究紀要』第22号、関西教育学会、2022年8月31日